

平成30年9月22日 発売予定  
「フェリス生が考えた横浜和菓子」

はまこひたび

# 浜恋路

—読み札—  
—取り札—

〈読み取ろう。逢いたい想い〉

「百人一首を現代に蘇らせたいたい」  
そんな学生の熱い思いが、ついに商品化。  
フェリス女学院は二〇二〇年に創立一五〇周年を  
迎えます。  
その記念すべきプロジェクト第一弾。  
和菓子と百人一首。フェリスと横浜。  
「和」のコラボレーションに  
「洋」のイメージを合わせたお菓子になりました。



左： 取り札 珈琲味  
450円（税別）  
右： 読み札 金柑味  
450円（税別）



フェリス女学院大学



横浜 元町  
香炉庵

平成30年9月22日 発売予定  
「フェリス生が考えた横浜和菓子」

はまこひたび

# 浜恋路

—読み札—  
—取り札—

あなたに逢いたい人はいいますか？

百人一首は、百人の歌人の和歌が集められたアンソロジーです。鎌倉時代初期に藤原定家が撰んだとされていますが、百の和歌には今と変わらない人間の営みや喜び、悲しみが込められています。横浜元町・香炉庵「浜恋路(はまこひたび)」のモチーフとなった和歌は、百人一首「瀬をはやみ岩にせかる滝川のわれても末に逢はむとぞ思ふ」(77番・崇徳院)と「あらざらむこの世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」(56番・和泉式部)の二首です。どちらも「逢いたい」という想いを和歌に託した恋歌です。人は人との縁なくして生きていくことはできません。古人は、自分の想いを三十一文字の和歌に託して、愛する人に伝えていたのです。

鎌倉時代に京都で生まれた百人一首が、このたび横浜元町・香炉庵「浜恋路(はまこひたび)」を通じて、現代の横浜の地に生まれ変わりました。百人一首は、かるたとしても幅広い世代から愛され続けています。「浜恋路(はまこひたび)」では、珈琲味(崇徳院)をかるたの取り札に、金柑味(和泉式部)を読み札に見立てました。「横浜」「恋」「路(たび)」の織りなす百人一首の和菓子、どうぞお楽しみください。

(フェリス女学院大学文学部日本語日本文学科教授 谷知子)



フェリス女学院大学



横浜 元町

香炉庵

[販売店舗]

元町本店  
そごう横浜店  
新横浜店

企画・広報課：横浜市泉区緑園4-5-3  
電話 045-812-9624  
<http://www.ferris.ac.jp/>

元町本店：横浜市中区元町1-40  
電話/FAX 045-663-8866  
<http://kouro-an.jp/>